

# 千葉市歌

白鳥省吾 校閲  
 落合栄一 作歌  
 弘田龍太郎 作曲

軽快に ♩ = 112

*mf*

ナミジハルカニメグルクロシオユタ  
 亥のはなやまーのまつかぜとおくそで

*f*

ケークヒラークテンスンノクニポ一  
 しーがうらーの寄せくるなみにかた

*cresc.*

ソーノ野ーノカガヤクミヤーコ見  
 りつたうーるたい治のむかーし

*f*

ヨ見ヨ見ヨトウトウトシンコーノブン  
 ま見ま見まはつらつとあたらしきじだ

*f*

カノツードーイワガチバシ  
 いにたーてーるわがちばし

<p>三                  朝霧はれゆく 寒川沖を                  希望の風に 白帆を揚げて                  心あわせて 漕ぎゆく如く                  あゝくく 玲瓏と 建設の                  意気高らかなの 吾が千葉市</p>	<p>二                  猪の鼻山の 松風遠く                  袖師ヶ浦の 寄せくる波に                  語り伝うる 大治のむかし                  いまくく 潑刺と 新しき                  時代に立てる 吾が千葉市</p>	<p>一                  浪路遙かに 環る黒潮                  豊けく拓く 天産の国                  房総の野の 輝く都                  見よくく 滔々と 新興の                  文化の集い 吾が千葉市</p>
--	--	--